

令和3年度 杉並区立杉並第七小学校 教育調査 集計結果【肯定率】

※肯定率とは、各質問項目への回答総数のうち、「5 とてもそう思う」、「4 ややそう思う」と回答した数の合計がどのくらいの割合であるかを%で示したものです。

◆ 児童(R3は全学年 R2は5年生、6年生)の回答

(令和4年1月実施)

No.	領 域	質 問	令和3年	令和2年
1	学級経営	先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	88.4%	86.8%
2	個別最適な学び (学習の個別化)	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	59.5%	△
3	個別最適な学び (指導の個別化)	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	67.1%	59.5%
4	探究の学び	授業では、自分の興味に基づいて問い合わせや課題を立てて学んでいる。	78.5%	△
5	協働的な学び	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	82.0%	△
6	学習成果の実感	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	87.7%	75.2%
7	学習評価	先生は、授業で自分ができたことを讃めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	84.5%	78.5%
8	教材教具(ICT)	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	93.0%	95.0%
9	系統的・連続的指導	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	79.1%	80.2%
10	道徳教育	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	83.1%	82.6%
11	体育・健康教育	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	86.7%	73.6%
12	地域と共に在る学校	地域の行事に参加している。	48.9%	△
13	地域と共に在る学校	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	71.8%	69.4%
14	危機管理体制	学校では、地震や火事など、様々な危険を予測し、避けるための知識や考え方について学んでいる。	91.0%	89.3%
15	教育相談体制	友達や先生、家族のことなどで悩んだとき、相談できる大人(先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など)が学校にいる。	73.2%	80.2%

※ 杉並区質問項目: No.1～No.13 学校独自質問項目: No.14, No.15

◆ 保護者(全学年)の回答 [回収率66.4%:前年86.5%]

(令和3年11月12月実施)

No.	領 域	質 問	令和3年	令和2年	前年比
1	学校生活全般	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	79.3%	83.8%	-4.5%
2	一貫教育 ／異校種の協働	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	26.3%	34.1%	-7.8%
3	学校評価	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	47.0%	53.6%	-6.6%
4	学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	76.9%	81.2%	-4.3%
5	学習成果の実感	【R3修整】子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。(【R2】子どもは学校の授業を通して、分かることが増えている。)	68.9%	90.3%	-21.4%
6	学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	65.7%	76.3%	-10.6%
7	教材教具(ICT)	学校は、ICT機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。	72.5%	51.0%	21.5%
8	道徳教育	子どもは、学校での生活を通して、他者と共にによりよく生きるための力が育まれている。	76.9%	85.7%	-8.8%
9	体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	86.9%	88.0%	-1.1%
10	教育相談体制	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	47.8%	48.1%	-0.3%
11	特別支援教育 研修・理解啓発	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	46.6%	54.9%	-8.3%
12	特別支援教育 交流及び共同学習	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	29.1%	△	△
13	地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	70.5%	75.6%	-5.1%
14	学校教育	学校は、様々な専門性をもつ人材が協力し、組織的に子どもたちの成長を支えてくれている感じている。	62.2%	72.4%	-10.2%
15	学校経営	学校は、障害など、参加に困難さを抱えている子どもたちも、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしている。	47.8%	65.6%	-17.8%
16	特色ある教育活動	特色ある教育活動は、学校や地域に特有の課題解決を通じて、子どもたちの成長によい効果をもたらしている。	58.6%	66.6%	-8.0%
17	いじめ防止対策	いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	31.4%	33.1%	-1.7%
18	危機管理体制	学校での生活を通して、子どもに、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれていると感じている。	79.3%	82.8%	-3.5%

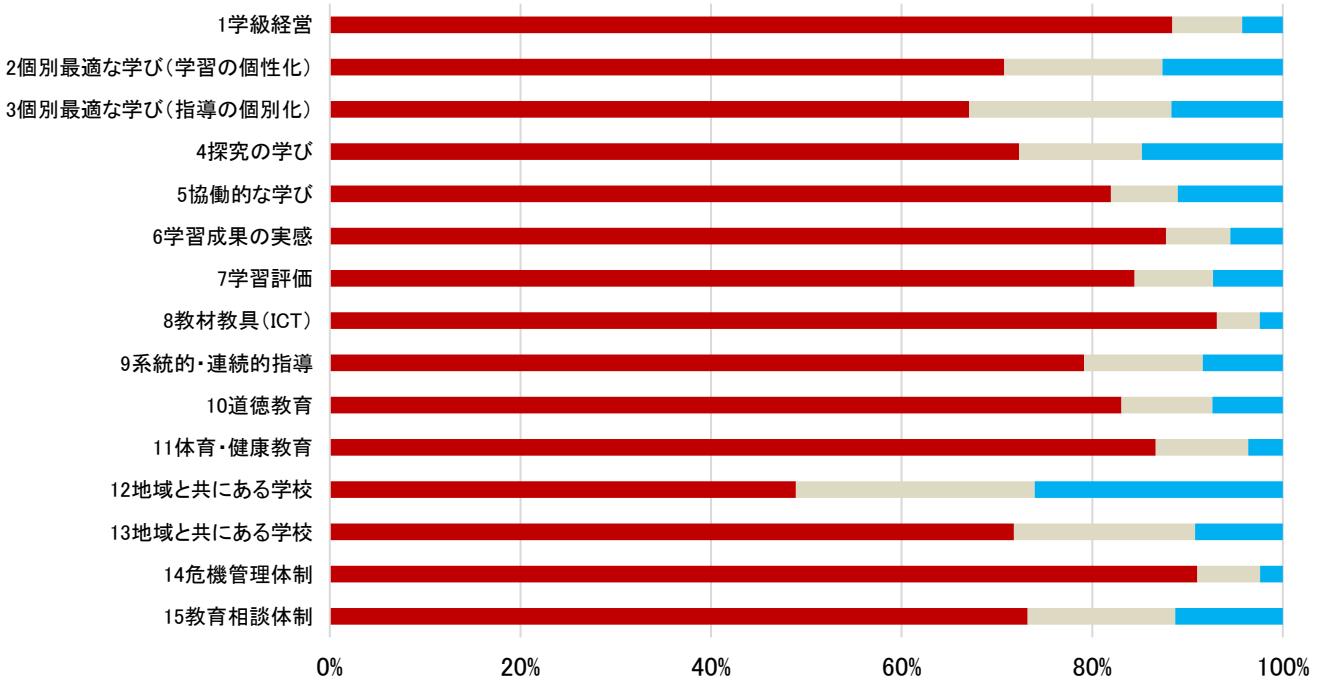
※ 杉並区質問項目: No.1～No.13 学校独自質問項目: No.14～No.18

令和3年度 杉並区立杉並第七小学校 教育調査 集計結果【グラフ】

※各質問項目への回答を、肯定的(■)：「5 とてもそう思う」、「4 ややそう思う」と、中間的(■)：「3 どちらともいえない」、「0 分からない」と、否定的(■)：「2 あまり思わない」、「1 まったく思わない」の3段階に分けて、項目ごとに全体を100%としたとき、それぞれの段階がどのくらいの割合になっているかをグラフで示したものです。

令和3年度 教育調査(全校児童) R4.1月実施

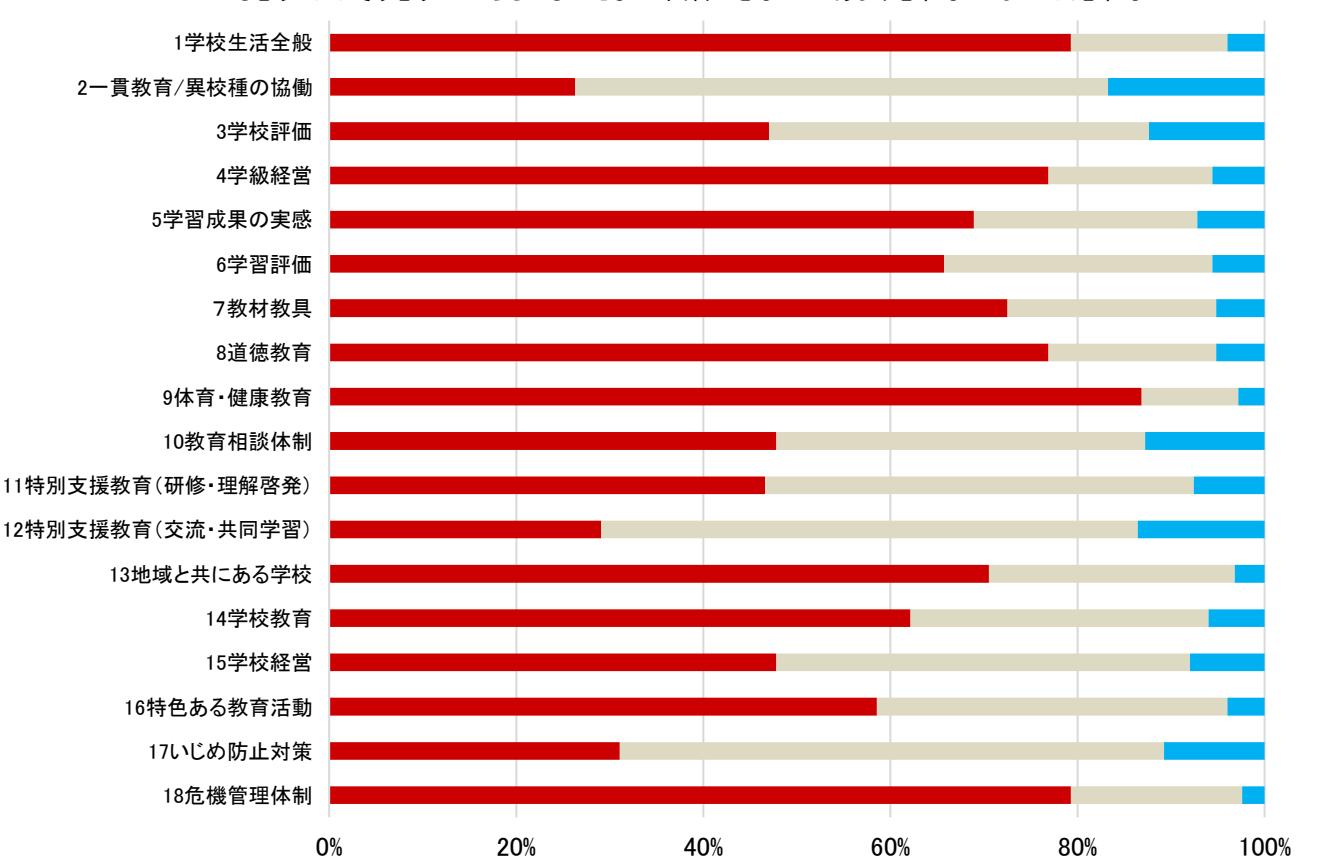
■とても思う・ややそう思う ■どちらともいえない・分からない ■あまり思わない・まったく思わない



0% 20% 40% 60% 80% 100%

令和3年度 教育調査(保護者) R3.11月12月実施

■とても思う・ややそう思う ■どちらともいえない・回答できない ■あまり思わない・まったく思わない



0% 20% 40% 60% 80% 100%